

# 第四次経営推進プランの経営目標に対する平成 30 年度達成状況について

長野県立総合リハビリテーションセンター

## はじめに

総合リハビリテーションセンターでは、「第四次経営推進プラン（計画期間：平成 30～令和 2 年度）」に基づき、経営を推進し、サービスの向上に取り組んでまいりました。

当プランに掲げる経営目標に対する平成 30 年度の達成状況について、次のとおり公表します。

## 第 1 全体目標の達成状況

全体目標	平成 30 年度実績	備考
① センター使用料収入額 <u>13 億円以上</u> の達成	13 億 721 万円余	医業収入 11 億 6,005 万円余 施設収入 1 億 4,715 万円余
② 病院部門における職員給与費の <u>1.9 倍以上</u> の医業収入の確保	1.86 倍	職員給与費 6 億 2,362 万円余

### ① センター使用料収入額について

○医業収入は、11 億 6,005 万円余となり、前年度に比べ 1.5%増加しました。

○施設収入は、1 億 4,715 万円余となり、前年度に比べ 11.4%増加しました。

○その結果、医業収入と施設収入を合わせたセンター使用料収入額は、13 億 721 万円余で、前年比 2.5%増となり、プランの全体目標である「13 億円以上」を達成しました。

(参考)

《医業及び施設収入の推移》

(単位：百万円)

(年度)	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
医業収入	1,272	1,284	1,244	1,142	1,160
施設収入	173	166	165	132	147

### ② 職員給与費について

○医業収入の 11 億 6,005 万円余は、病院部門の職員給与費 6 億 2,362 万円余の 1.86 倍であり、プランの全体目標である「1.9 倍以上」をほぼ達成しました。

## 第2 個別目標の達成状況

各部署の業務等に関し設定している個別目標の達成状況は次のとおりです。

区 分		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和2年度 目標値
更生 相談	更生相談件数	7,995 件	8,876 件	7,300 件
	出前講座開催件数(3年間) ※1	23 件	12 件	20 件
障 が い 者 支 援 施 設	新規施設利用者数	57 人	50 人	61 人
	うち病院部門経由	15 人	18 人	20 人
	1日平均利用者数 ※2	47.2 人	47.0 人	56.0 人
	施設利用率 ※3	59.0 %	58.8 %	70.0 %
	理学療法実施延べ人数	7,994 人	8,506 人	8,000 人
	理学療法実施総時間数	5,394 時間	5,462 時間	5,500 時間
	作業療法実施延べ人数	6,887 人	7,570 人	7,000 人
	作業療法実施総時間数	6,305 時間	6,770 時間	6,000 時間
医 療	医師数 ※4	6 人	6 人	7 人
	看護師数 ※4	54 人	55 人	54 人
	外来患者数	19,437 人	19,722 人	20,000 人
	手術件数(整形外科)	407 件	428 件	400 件
	神経ブロック件数 ※5	98 件	90 件	110 件
	入院患者数	624 人	575 人	620 人
	病床利用率(1階病棟) ※6	72.3 %	68.4 %	73.0 %
	病床利用率(2階病棟) ※6	72.3 %	71.0 %	78.0 %
	2階病棟個室利用率	79.6 %	86.0 %	88.0 %
	平均在院日数(1階病棟)	93.6 日	94.5 日	80.7 日
	平均在院日数(2階病棟)	19.7 日	20.7 日	19.4 日
	転院患者受入件数(1階病棟)	93 件	60 件	80 件
	MRI依頼検査件数 ※7	45 件	36 件	53 件
	CT依頼検査件数 ※7	2 件	0 件	5 件
	ジェネリック薬品使用率 ※8	66.5 %	77.7 %	80.0 %
	理学療法実施延べ人数	17,346 人	16,833 人	18,000 人
	理学療法実施総単位数	35,157 単位	37,972 単位	35,500 単位
	作業療法実施延べ人数	8,935 人	8,071 人	9,100 人
	作業療法実施総単位数	16,414 単位	15,783 単位	16,900 単位
	言語聴覚療法実施延べ人数	4,712 人	3,934 人	4,500 人
言語聴覚療法実施総単位数	9,033 単位	7,361 単位	8,750 単位	
義肢装具製作件数	151 件	177 件	190 件	
義肢装具修理件数	184 件	204 件	200 件	

区 分		平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和2年度 目標値
エ コ ロ ジ ー & エ コ ノ ミ ー	電気使用量の削減 ※9	1.7% 削減	3.4% 削減	1.5% 削減
	燃料(灯油、重油)使用量の削減 ※9	0.2% 増加	1.8% 増加	5.0% 削減
	水道使用量の削減 ※9	11.8% 削減	2.3% 増加	3.0% 削減
	用紙類の削減 ※9	37.0% 削減	41.8% 増加	5.0% 削減

- 注 ※1 出前講座開催件数(3年間)は、平成29年度実績は平成27年度からの累計数値、平成30年度実績、令和2年度目標値は平成30～令和2年度の合計数値
- ※2 1日平均利用者数は、(日中活動支援付短期入所者を含む入所者数+通所利用在籍者)÷365日
- ※3 施設利用率=1日平均利用者数÷定員80人×100
- ※4 医師数及び看護師数数は、代替職員を含み、休業中の職員を含まない。
- ※5 より高度な全身管理を必要とするため、手術室において行う神経ブロック件数
- ※6 病床利用率=(在院患者延数+退院患者数)÷(365日×40床)×100
- ※7 MRI依頼検査件数、CT依頼検査件数は、他院からの依頼を受けて実施する件数
- ※8 ジェネリック薬品使用率は、数量ベース
- ※9 電気使用量、燃料(灯油、重油)使用量、水道使用量、用紙類の目標値は、基準年度(平成28年度)の使用量に対する削減率

### [更生相談]

- 更生相談件数は、平成29年度に比べ大幅に増加し、目標に対して20.5%上回りました。
- 出前講座は12件となり、3年間の講座開催目標の60%を単年度で達成しました。

### [障がい者支援施設]

- 地域共生社会の実現を目指す施策が進められる中、地域における各種福祉サービスが充実してきていることもあり、当センターの新規施設利用者数、施設利用率とも前年実績に比べ減少しました。
- 理学療法及び作業療法については、実施延べ人員、実施総時間数とも前年実績を上回りました。

### [医 療]

- 医師数は、整形外科医1名の欠員が生じました。
- 看護師数について目標の人員を確保することができました。
- 脊椎手術・関節手術等の手術件数(整形外科)は、医師が1名欠員であったものの、428件となり、目標の400件を上回りました。神経ブロック件数は治療の効果により患者数が減少したこともあり、前年実績を下回りました。
- 外来患者数は、診療日数の増加等により前年実績を上回ったものの、入院患者数は、医師が1名欠員であったこともあり、目標を下回りました。
- 1階病棟は、転院患者受入件数が目標を下回ったこと等により、病床利用率は前年よりも低下しました。2階病棟の病床利用率は、手術前検査入院を手術入院時に合わせて実施すること等により、前年よりも低下しました。

- MRI 依頼検査件数は 36 件ありましたが、前年実績よりも減少しました。
- ジェネリック薬品使用率は、前年実績から11.2ポイント高い 77.7%に上昇し、目標をほぼ達成しました。
- 理学療法の実施延べ人数は目標を下回ったものの、実施総単位数は増加し、目標を上回りました。
- 作業療法及び言語聴覚療法は、実施延べ人員、実施総単位数とも、前年実績よりも減少しました。

#### **[補装具]**

- 義肢装具製作件数及び修理件数は、前年実績よりも増加し、修理件数は目標を上回りました。

#### **[エコロジー&エコノミー]**

- 電気使用量は、前年度を大幅に削減することができ、目標を達成しました。燃料(灯油、重油)、水道使用量、用紙類は目標達成までには至りませんでした。

#### **おわりに**

第四次経営推進プランの経営目標達成に向け、引き続き、職員一同努力してまいります。